

総括表

匝 瑳 市				工事番号				提出年月日			
市長		副市長		課長		班の統括		設計主任		浄書校合	
年度 科目	令和 8 年度		款 7			項 2		目 3		節 14	
路 線 名		市道 6 1 0 5 号線									
工事名		道路改良工事									
工事場所		匝瑳市吉田地先						工事施工方法		請 負	
								工事日数		1 0 0 日間	
請負工事費計				円							
工事価格				円							
消費税相当額				円							

設 計 説 明	道路改良工事 市道 6 1 0 5 号線 匝瑳市吉田地先 L = 1 7 m A = 8 1 m² 排水構造物工 土留付側溝据付工 (300*300*1000 H2000 T-25) L = 7 m 舗装工 不陸整正 A = 8 1 m² 路盤工 (MS0-25 t=15cm) A = 8 1 m² 表層工 (再生密粒度As13mm t=5cm) A = 8 1 m²
起 工 理 由	

設 計 基 本 情 報

設計情報

設計書番号	013700216
設計種別	当初設計
工事番号	
工事名	道路改良工事
路 線 名	市道 6 1 0 5 号線

諸経費情報

単価世代	2026年 8月 3日
諸経費の工種	道路改良工事
施工地域補正	なし
前払金支出割合	0%
契約保証費	なし
処分費控除	あり
週休2日補正	なし

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
	準備工							
		舗装版切断工	As舗装版 15cm以下	m	9			第 1 号単価表参照
		舗装版破碎積込	AS舗装版 ハックホ0.28m3	m2	71			第 2 号単価表参照
		路盤掘削積込	路盤材 ハックホ0.28m3	m3	11			第 3 号単価表参照
		構造物撤去	Co構造物 ハックホ0.28m3	m3	1			第 4 号単価表参照
		ダンプトラック運搬 (4 t)	As廃材・無筋Co 11.5km以下	m3	5			第 5 号単価表参照
		ダンプトラック運搬 (4 t)	路盤廃材 10.0km以下	m3	11			第 6 号単価表参照
		処分費 (t)	AS廃材 山武地区	t	9			第 7 号単価表参照
		処分費 (t)	無筋Co 山武地区	t	2			第 8 号単価表参照
		処分費 (t)	路盤廃材 山武地区	t	22			第 9 号単価表参照
	土 工							

本 工 事 内 訳 書

2 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		掘削	ハックホ0.28m3	m3	60			第 10 号単価表参照
		床掘	ハックホ0.28m3	m3	8			第 11 号単価表参照
		埋戻	ハックホ0.28m3	m3	11			第 12 号単価表参照
		土砂等運搬（4 t）	発生土 2.5km以下	m3	56			第 13 号単価表参照
		処分費（m3）	発生土	m3	56			第 14 号単価表参照
	法面工							
		法面整形	切土部	m2	20			第 15 号単価表参照
	排水構造物工							
		土留付側溝据付工	300*300*1000 T-25 H2000	m	7			第 16 号単価表参照
		側溝蓋設置	300用 T-25 L=500	枚	13			第 17 号単価表参照
		側溝用グレーチング据付工	300用グレーチング T-25 L=500	枚	1			第 18 号単価表参照

本 工 事 内 訳 書

3 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
	舗装工							
		不陸整正		m2	81			第 19 号単価表参照
		上層路盤（車道・路肩部）	MS0-25 t=15cm	m2	81			第 20 号単価表参照
		表層（車道・路肩部）	再生密粒度As13mm t=5cm	m2	81			第 21 号単価表参照
	付帯工							
		土のう工	撤去	袋	100			第 22 号単価表参照
		土のう工	積立・発生土利用	袋	100			第 23 号単価表参照
		境界杭設置	手間のみ	本	1			第 24 号単価表参照
		部材撤去（レール撤去）	Gr-C-4 E	m	4			第 25 号単価表参照
		部材設置（レール設置）	Gr-C-4 E （手間のみ）	m	4			第 26 号単価表参照
		防護柵撤去工（ガードレール撤去）	Gr-C-4 E	m	8			第 27 号単価表参照

本 工 事 内 訳 書

4 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		防護柵設置工（ガード レール設置）	Gr-C-4E （材料費を除く手間のみ）	m	8			第 28 号単価表参照
	安全管理							
		交通誘導警備員 B		人日	10			第 29 号単価表参照
	直接工事費計							
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計		式	1			
	純工事費			式	1			
		現場管理費		式	1			
	工事原価			式	1			
		一般管理費等		式	1			
	工事価格			式	1			

本 工 事 内 訳 書

5 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
工事費計				式	1			

第 1 号 単価表

舗装版切断工

As舗装版 15cm以下

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ〔バキューム式 (超低騒音型)〕	湿式 切削深20cm級 フレート径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 1 号 単価表

舗装版切断工

As舗装版 15cm以下

1 m 当り

2 頁

SCB430510

J01 舗装版種別 = 1

J05 費用の内訳 = 1

アスファルト舗装版
全ての費用

J02 アスファルト舗装版厚 = 1

15cm以下

第 2 号 単価表

舗装版破碎積込

AS舗装版
バックホリ0.28m3

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホリ(クローラ) [超小旋回型・クレーン機能付き]	山積0.28m3(平積0.2m3) 1.7t吊	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手 (特殊)		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB440500

第 3 号 単価表

路盤掘削積込

路盤材
バックホリ0.28m3

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第2次） 山積0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210100

J01 土質 = 1
J05 施工数量 = 7

土砂
小規模（標準）

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 4 号 単価表 構造物撤去						
Co構造物 バックホリ0.28m3						
1 m3 当り						
名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210030

J01 土質 = 1

J05 費用の内訳 = 1

土砂
全ての費用

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

※施工パッケージ単価

第 5 号 単価表

ダンプトラック運搬（4 t）

As廃材・無筋Co
11.5km以下

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB440510

J01 積載区分 = 2 アスファルト塊
J03 運搬距離 (km) (DID区間無) = 5 11.5km以下

J02 DID区間の有無 = 1 無し

第 6 号 単価表

ダンプトラック運搬（4 t）

路盤廃材
10.0km以下

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2

J03 土質 = 1

J13 運搬距離（km）（DID区間無） = 10 10.0km以下

小規模
土砂（岩塊・玉石混り土含む）

J02 積込機種・規格 = 5

J04 DID区間の有無 = 1

バックホウ山積0.28m3（平積0.2m3）
無し

第 7 号 単価表

処分費 (t)

AS廃材
山武地区

100 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費		t	100			
計	100 t 当り					
	1 t 当り					

SWB020052

第 8 号 単価表

処分費 (t)

無筋Co
山武地区

100 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費		t	100			
計	100 t 当り					
	1 t 当り					

SWB020052

第 9 号 単価表

処分費 (t)

路盤廃材
山武地区

100 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費		t	100			
計	100 t 当り					
	1 t 当り					

SWB020052

第 10 号 単価表

掘削

バックホリ0.28m3

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第2次） 山積0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210100

J01 土質 = 1

J05 施工数量 = 7

土砂
小規模（標準）

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 11 号 単価表

床掘

バックホリ0.28m3

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東京単価	積算単価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210030

J01 土質 = 1
J05 費用の内訳 = 1

土砂
全ての費用

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 12 号 単価表

埋戻

バックホリ0.28m3

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0.28m3	%	K1			
ランマ	質量60～80kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 12 号 単価表

埋戻

バックホリ0.28m3

1 m3 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m3 当り					

SCB210410

J01 施工方法 = 5

J04 費用の内訳 = 1

上記以外（小規模）

全ての費用

J02 土質 = 1

土砂

※施工パッケージ単価

第 13 号 単価表

土砂等運搬（4 t）

発生土
2.5km以下

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（一般）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2

J03 土質 = 1

J13 運搬距離（km）（DID区間無） = 4

小規模

土砂（岩塊・玉石混り土含む）

2.5km以下

J02 積込機種・規格 = 5

J04 DID区間の有無 = 1

バックホウ山積0.28m3（平積0.2m3）

無し

第 14 号 単価表

処分費 (m3)

発生土

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費		m3	100			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SWB020051

第 15 号 単価表		法面整形		切土部		1 m2 当り	
名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要	
標準単価			P				
機械構成比		%	K				
バックホウ（クローラ）〔標準〕	山積0. 8 m 3 （平積0. 6 m 3 ）	%	K1				
労務構成比		%	R				
普通作業員		%	R1				
運転手（特殊）		%	R2				
土木一般世話役		%	R3				
材料構成比		%	Z				
軽油		%	Z1				
	1 m2 当り						

SCB220010

J01 整形箇所 = 2

J04 土質 = 1

切土部
れ質土、砂及び砂質土、粘性土

J03 現場制約の有無 = 2

J05 費用の内訳 = 1

無し
全ての費用

第 16 号 単価表

土留付側溝据付工

300*300*1000 T-25

H2000

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝 昼間	L 1 0 0 0 2 0 0 0 k g 以下 制約無	m	10			
側溝		個	10			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	2. 16			
型枠		m2	2			第 30 号単価表参照
コンクリート		m3	1. 8			第 31 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

第 17 号 単価表

側溝蓋設置

300用
T-25 L=500

100 枚 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間	1 7 0 k g 以下 制約無	枚	100			
側溝蓋		枚	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 枚 当り					
	1 枚 当り					

SWB821430

J01 作業区分 = 1

J03 蓋版の種類 = 5

J06 時間的制約の有無 = 1

据付け

蓋版（各種）

無し

J02 夜間作業の有無 = 1

J05 規格・仕様区分 = 2

J07 施工箇所における補正 = 1

無し

40を超え170kg/枚以下

無し

第 18 号 単価表

側溝用グレーチング据付工

300用グレーチング
T-25 L=500

100 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間	40kg以下 制約無	枚	100			
側溝蓋		枚	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100枚 当り					
	1枚 当り					

SWB821430

J01 作業区分 = 1

J03 蓋版の種類 = 5

J06 時間的制約の有無 = 1

据付け
蓋版（各種）
無し

J02 夜間作業の有無 = 1

J05 規格・仕様区分 = 1

J07 施工箇所における補正 = 1

無し
40kg/枚以下
無し

第 19 号 単価表

不陸整正

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用]	排出ガス対策(2014年規制)プレート幅3.1m	%	K1			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12 t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量13～14 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 19 号 単価表

不陸整正

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB410010

J01 補足材料の有無 = 1

無し

J04 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 20 号 単価表 上層路盤（車道・路肩部） MS0-25 t=15cm 1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用]	排出ガス対策(2014年規制)プレート幅3.1m	%	K1			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12 t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量13～14 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 20 号 単価表		上層路盤（車道・路肩部）		MS0-25 t=15cm		1 m2 当り	2 頁
名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要	
路盤材		%	Z1				
軽油		%	Z2				
	1 m2 当り						

SCB410040

J01 材料 = 12

J07 施工区分 = 1

路盤材（砕石各種）
1層施工

J06 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 150

J09 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 21 号 単価表

表層（車道・路肩部）

再生密粒度As13mm
t=5cm

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅 2. 3 ～ 6. 0 m	%	K1			
タイヤローラ [普通型]	運転質量 1 3 ～ 1 4 t	%	K2			
ロードローラ [マカダム]	運転質量 1 0 ～ 1 2 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 21 号 単価表

表層（車道・路肩部）

再生密粒度As13mm
t=5cm

1 m2 当り 2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（1 3）	%	Z1			
アスファルト乳剤	P K－3 プライムコート用	%	Z2			
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410260
J01 平均幅員 = 4
J05 材料 = 11
J07 費用の内訳 = 1

3.0m超
再生密粒度アスコン（1 3）
全ての費用

J04 1層当平均仕上厚 70mm以下[mm] = 50
J06 瀝青材料種類 = 2 プライムコート PK-3

第 22 号 単価表

土のう工

撤去

100 袋 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 袋 当り					
	1 袋 当り					

SWB252610

J01 作業内容 = 3

撤去

第 23 号 単価表

土のう工

積立・発生土利用

100 袋 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
購入土		m3	2			
普通作業員		人				
土のう	6 2 × 4 8 c m	袋	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 袋 当り					
	1 袋 当り					

SWB252610

J01 作業内容 = 2

仕拵・積立

第 24 号 単価表

境界杭設置

手間のみ

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
境界杭設置工 手間のみ	コンクリート製 根巻き基礎なし	本	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 本 当り					

SWB812330

J01 施工区分 = 2 根巻き基礎無し
 J03 施工規模 = 3 10本未満
 J05 時間制約を受ける場合の補正 = 1 無

J02 材料費区分 = 3 手間のみ
 J04 夜間作業の補正 = 1 無

第 25 号 単価表

部材撤去（レール撤去）

Gr-C-4E

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードレール部材撤去工 レール(耐雪型含)	路側用A・B・C 歩車道境界旧ApBpCp	m	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m 当り					

SWB810580

J01 規格・仕様 = 2 路側用A・B・C種（旧Ap・Bp・Cp種）

J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 無

J02 夜間作業の補正 = 1

無

第 26 号 単価表

部材設置（レール設置）

Gr-C- 4 E
(手間のみ)

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードレール部材設置工 レール(耐雪型含)	路側用 A・B・C種	m	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m 当り					

SWB810560

J01 材料費区分 = 2	手間のみ	J02 規格・仕様 = 1	路側用A・B・C種
J03 夜間作業の補正 = 1	無	J04 時間的制約を受ける場合の補正 = 1	無
J05 曲線部補正 = 1	無		

第 27 号 単価表

防護柵撤去工（ガードレール撤去）

Gr-C-4E

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードレール撤去工 土中建込用	G r - A、B、C - 4 E	m	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m 当り					

SWB810530

J01 施工区分 = 1

土中建込・標準型

J02 規格・仕様 = 4

Gr-C-4E

J03 夜間作業の補正 = 1

無

J04 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 無

第 28 号 単価表

防護柵設置工（ガードレール設置）

Gr-C-4E

（材料費を除く手間のみ）

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガードレール設置工 土中建込用	G r - C - 4 E 塗装	m	1			
ガードレール 路側用（土中用）	G r - C - 4 E 塗装	m	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m 当り					

SWB810540

J01 施工区分 = 1 土中建込
 J03 施工規模による加算 = 5 21m未満
 J05 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 無

J02 規格・仕様 = 3
 J04 夜間作業の補正 = 1
 J06 曲線部補正 = 1

Gr-C-4E 塗装品
 無
 無

第 29 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員 B		人	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 30 号 単価表 型枠 1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
	1 m2 当り					

SCB240210
J01 型枠の種類 = 3
撤去しない埋設型枠

J02 構造物の種類 = 6
床版部

第 31 号 単価表 コンクリート 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	1 8 - 8 - 2 5 （ 2 0 ） 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 1

J03 コンクリート規格 = 41

J07 現場内小運搬の有無 = 2

無筋・鉄筋構造物

18-8-25（高炉）

無し

J02 打設工法 = 4

J05 養生工の種類 = 2

J13 費用の内訳 = 1

人力打設

一般養生

全ての費用

数 量 計 算 書

道路改良工事 市道6105号線 吉田地先

種目	材名・規格等	算出基礎	単位	数量
準備工				
舗装版切断工	As舗装版 15cm以下	$3.5 + 5.5 = 9.0\text{m}$ (No. 20+11・No. 21+8)	m	9
舗装版破碎積込	As舗装版 ハックホ0.28m3	別紙内訳書参照 71.0m2	m2	71
路盤掘削積込	路盤材 ハックホ0.28m3	別紙内訳書参照 71.0m2*0.15=10.7m3	m3	11
構造物撤去	無筋Co ハックホ0.28m3	$0.8(\text{平均}h) * 0.2(w) * 6m(L) = 1.0\text{m}^3$ (法止めCo)	m3	1
ダンプトラック運搬 (4t)	As廃材・無筋Co 11.5km以下	$71.0\text{m}^2 * 0.05 = 3.6\text{m}^3$ (As廃材) 1.0m3 (無筋Co) $3.6 + 1.0 = 4.6\text{m}^3$	m3	5
ダンプトラック運搬 (4t)	路盤廃材 10.0km以下	10.7m3	m3	11
処分費 (t)	As廃材 処分区分：山武	$3.6\text{m}^3 * 2.35 = 8.5\text{t}$	t	9
処分費 (t)	無筋Co 処分区分：山武	$1.0\text{m}^3 * 2.35 = 2.4\text{t}$	t	2
処分費 (t)	路盤廃材 処分区分：山武	$10.7\text{m}^3 * 2.04 = 21.8\text{t}$	t	22
土工				
掘削	ハックホ0.28m3	別紙内訳書参照 60.4m3	m3	60
床堀	ハックホ0.28m3	別紙内訳書参照 7.7m3	m3	8
埋戻	ハックホ0.28m3	別紙内訳書参照 10.6m3	m3	11
土砂等運搬 (4t)	発生土 2.5km以下	$60.4 + 7.7 - (10.6 / 0.9) = 56.3\text{m}^3$	m3	56
処分費 (m3)	発生土	56.3m3	m3	56
法面工				
法面整形	切土部	別紙内訳書参照 $11.1 + 8.7 = 19.8\text{m}^2$	m2	20
排水構造物工				
土留付側溝据付工	300*300*1000 T-25 H2000	展開図参照 7m	m	7
側溝蓋設置	300用 T-25 L=500	$7\text{m} / 0.5\text{m} = 14\text{枚} - 1\text{枚} = 13\text{枚}$	枚	13
側溝用グレーチング据付工	300用グレーチング T-25 L=500	$7\text{m} / 10\text{m} = 0.7 = 1\text{枚}$	枚	1

舗装工				
不陸整正		別紙内訳書参照 81.3m2	m2	81
上層路盤 (車道・路肩部)	MS0-25 t=15cm	別紙内訳書参照 81.3m2	m2	81
表層 (車道・路肩部)	再生密粒度As13mm t=5cm	別紙内訳書参照 81.3m2	m2	81
付帯工				
土のう工	撤去	100袋(No21+9付近小口止め)	袋	100
土のう工	積立・発生土利用	100袋(No21+2付近小口止め)	袋	100
境界杭設置	手間のみ		本	1
部材撤去 (レール撤去)	Gr-C-4E	4m	m	4
部材設置 (レール設置)	Gr-C-4E 手間のみ	4m	m	4
防護柵撤去工 (ガードレール撤去)	Gr-C-4E	8m	m	8
防護柵設置工 (ガードレール設置)	Gr-C-4E 材料費を除く手間のみ	8m	m	8
安全管理				
交通誘導員B			人日	10

内 訳 書

市道6105号線 匝瑳市吉田地先

測 点		測点間 距 離	掘削			法面（左）			法面（右）		
			断面積	平均	立積	法長	平均	平積	法長	平均	平積
自	No. 20+11	2. 527	0. 1	0. 40	1. 0	0. 0	0. 00	0. 0	0. 0	0. 00	0. 0
至	SP. 11		0. 7			0. 0			0. 0		
自	SP. 11	4. 473	0. 7	1. 35	6. 0	0. 0	0. 65	2. 9	0. 0	0. 00	0. 0
至	No. 20+18		2. 0			1. 3			0. 0		
自	No. 20+18	2. 000	2. 0	2. 75	5. 5	1. 3	1. 30	2. 6	1. 5	1. 80	3. 6
至	No. 21		3. 5			1. 3			2. 1		
自	No. 21	1. 000	3. 5	6. 35	6. 4	1. 3	1. 30	1. 3	2. 1	2. 30	2. 3
至	No. 21+1		9. 2			1. 3			2. 5		
自	No. 21+1	3. 311	9. 2	8. 40	27. 8	1. 3	0. 85	2. 8	0. 4	0. 40	1. 3
至	EC. 11		7. 6			0. 4			0. 4		
自	EC. 11	0. 689	7. 6	6. 80	4. 7	0. 4	0. 40	0. 3	0. 4	0. 40	0. 3
至	No. 21+5		6. 0			0. 4			0. 4		
自	No. 21+5	3. 000	6. 0	3. 00	9. 0	0. 4	0. 40	1. 2	0. 4	0. 40	1. 2
至	No. 21+8		0. 0			0. 4			0. 4		
合 計		17. 000			60. 4			11. 1			8. 7

測 点		測点間 距 離	床堀			埋戻					
			断面積	平均	立積	断面積	平均	立積			
自	No. 20+11	2. 527	0. 0	0. 00	0. 0	0. 1	0. 05	0. 1			
至	SP. 11		0. 0			0. 0					
自	SP. 11	4. 473	0. 0	0. 00	0. 0	0. 0	0. 00	0. 0			
至	No. 20+18		0. 0			0. 0					
自	No. 20+18	2. 000	0. 0	0. 00	0. 0	0. 0	0. 00	0. 0			
至	No. 21		0. 0			0. 0					
自	No. 21	1. 000	0. 0	0. 00	0. 0	0. 0	0. 00	0. 0			
至	No. 21+1		0. 0			0. 0					
自	No. 21+1	3. 311	1. 1	1. 10	3. 6	1. 5	1. 50	5. 0			
至	EC. 11		1. 1			1. 5					
自	EC. 11	0. 689	1. 1	1. 10	0. 8	1. 5	1. 50	1. 0			
至	No. 21+5		1. 1			1. 5					
自	No. 21+5	3. 000	1. 1	1. 10	3. 3	1. 5	1. 50	4. 5			
至	No. 21+8		1. 1			1. 5					
合 計		17. 000			7. 7			10. 6			

測 点		測点間 距 離	不陸整正・路盤・表層			舗装版・路盤掘削					
			幅員	平均	平積	幅員	平均	平積			
自	No. 20+11	2. 527	3. 50	3. 50	8. 8	3. 50	3. 50	8. 8			
至	SP. 11		3. 50			3. 50					
自	SP. 11	4. 473	3. 50	3. 80	17. 0	3. 50	3. 80	17. 0			
至	No. 20+18		4. 10			4. 10					
自	No. 20+18	2. 000	4. 10	4. 40	8. 8	4. 10	4. 10	8. 2			
至	No. 21		4. 70			4. 10					
自	No. 21	1. 000	4. 70	5. 37	5. 4	4. 10	4. 25	4. 3			
至	No. 21+1		6. 04			4. 40					
自	No. 21+1	3. 311	6. 04	6. 05	20. 0	4. 40	4. 40	14. 6			
至	EC. 11		6. 05			4. 40					
自	EC. 11	0. 689	6. 05	6. 00	4. 1	4. 40	4. 45	3. 1			
至	No. 21+5		5. 95			4. 50					
自	No. 21+5	3. 000	5. 95	5. 73	17. 2	4. 50	5. 00	15. 0			
至	No. 21+8		5. 50			5. 50					
合 計		17. 000			81. 3			71. 0			

特 記 仕 様 書

この特記仕様書は、本工事に関し、請負者が守らなければならない事項を特に定めたものである。

◎適用

この特記仕様書は、千葉県土木工事共通仕様書（令和7年度版）（以下、「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。なお、本工事の施工にあたっての一般事項は、共通仕様書によるものとする。

◎工期

工期は、雨天、休日等を見込み、契約日の翌日から100日間とする。

なお、休日等には、日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

◎環境対策等

（環境対策に関する記述）

1. 請負者は、千葉県が運用を開始している環境マネジメントシステムの構成要素をなす「公共事業における環境影響の低減」を推進し、達成するため、施工計画書の“環境対策”内に、独立した項目として「環境に配慮した工事の実施計画」について記載するものとする。
2. 工事施工にあたっては、騒音防止及び排気ガス対策を施した機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督職員の承諾を得なければならない。
3. 本工事で使用する軽油については、JIS規格軽油を使用すること。
4. 請負者は、県税事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の抜取調査に対しては、監督職員の指示により協力しなければならない。

◎震災対策

1. 地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。
2. 地震予知情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置を講ずるものとする。

◎設計変更

設計変更等については、契約書第19条から第26条及び共通仕様書共通編1-1-14から1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事請負契約における設計変更等ガイドライン（総合版）令和3年1月（千葉県県土整備部）」に準ずることとする。

◎法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

◎建設副産物

1. 共通事項

1)「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(COBRI S)」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。

また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、その電子データと出力した様式を各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後5年間保存しておくこと。

○作成対象工事

「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・排出の有無にかかわらず作成する。

2)「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。

建設副産物の処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料(受入伝票、写真等)を監督職員に提示し確認を受けること。

3)建設廃棄物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のD票及びE票を提示すること。

また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの(受渡確認票等)を提示すること。

2. 建設廃棄物

本工事により発生する

- (1)アスコン塊は、(有)越川商店(片道運搬距離11.5km以下)に運搬し、処理するものとする。
- (2)路盤廃材は、(有)越川商店(片道運搬距離10.0km以下)に運搬し、処理するものとする。
- (3)無筋コンクリート廃材は、(有)越川商店(片道運搬距離11.5km以下)に運搬し、処理するものとする。
- (4)有筋コンクリート廃材は、(片道運搬距離 km以下)に運搬し、処理するものとする。
- ~~(5)幹根は、(片道運搬距離 km以下)に運搬し、処理す~~

~~るものとする。~~

~~（６）伐採竹は、（片道運搬距離 k m 以下）に運搬し、処理するものとする。~~

~~（７）路肩土砂は、（片道運搬距離 k m 以下）に運搬するものとする。~~

（８）建設発生土は、次のとおりとする。

~~１）指定（Ａ）（工事間流用）の場合~~

~~本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、工事間利用を図るものとし、下記指定地に搬出すること。~~

~~ア 搬出先 工事 市道 号線 匝瑳市 地先~~

~~イ 土質及び処理量 第 種発生土 m³~~

~~ウ 搬出時期 平成 年 月 月～平成 年 月 日~~

~~なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。~~

~~２）指定（Ａ）（その他）の場合~~

~~掘削土砂 m³は、匝瑳市野手地先（片道運搬距離 k m 以下）に搬出するものとする。~~

~~なお、詳細については監督職員の指示によるものとする。~~

３）指定（Ｂ）の場合

建設発生土 56.3 m³は、片道運搬距離 2.5 k m 以下に搬出するものとする。

~~（９）刈草・剪定枝等は、（片道運搬距離 k m 以下）に運搬し、処理するものとする。~~

~~（１０）発生材は、（片道運搬距離 k m 以下）に運搬するものとする。~~

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

◎建設リサイクル法に関する事項

１．特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置

１）本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）。以下建設リサイクル法という。」に基づく対象建設工事であり、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

２）受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条の規定により、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等した施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、その書面は、「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」を用いて作成した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書によることができる。

2. 請け負おうとする建設業を営む者からの事前説明に関する事項

- 1) 建設リサイクル法第12条の規定により、対象建設工事を請け負おうとする建設業を営む者は、発注者に対し、『「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)の施行に伴う公共工事の取扱い』で定める「法第12条第1項に基づく書面」を交付し説明を行うこととする。
- 2) 書面の交付は、契約に先立って行うこととする。

◎工事支障物件

(地下埋設物等)

1. 工事の施工に際し、地下埋設物物件等が予想される場合は、その管理者と現地立会の上、当該物件の位置、深さ等を確認し、保安対策について十分打ち合わせを行い、事故の発生を防止しなければならない。
2. 請負者の責により、地下埋設物物件等に損害を与えた場合は、速やかに監督職員に報告するとともに、関係機関に連絡し、応急措置をとり、請負者の負担によりこれを補修しなければならない。
3. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督職員に報告し、その処置について占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。

◎安全対策

(公衆災害)

工事の施工にあたっては、「建設工事公衆災害防止対策要綱」に従って行わなければならない。

(安全対策)

1. 請負者は、発注者が行う審査、検討、安全点検等に協力しなければならない。
2. 発注者が指示するときは、請負者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全かつ円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置するものとする。

(安全・訓練等の実施)

本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し、安全・訓練等を実施するものとする。

- 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- 2) 本工事内容等の周知徹底
- 3) 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- 4) 本工事における災害対策訓練
- 5) その他、安全・訓練等として必要な事項

(実施状況報告)

安全・訓練等の実施状況等のビデオまたは実施状況報告書を監督職員に提出しなければならない。

(高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況)

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、

工事完了時までには所定の様式により提出することができる。

◎工事現場管理

請負者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし柢装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車輛、さし柢装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柢装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
6. 不法・違法無線局（不法パーソナル無線）を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。
7. 請負者は、本仕様書に明記されていない事項又は、疑義を生じた場合は、監督職員と前もって協議し、その指示に従わなければならない。
8. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

◎事前測量の実施

工事着手にあたり、境界や各測点毎に事前に測量等を実施し、設計と現況との比較について監督職員に報告すること。

◎施工計画書及び使用材料書

施工に先立ち、施工計画に本工事の内容に応じた具体的な計画を作成するとともに、本工事で使用する使用材料書を監督職員に提出しなければならない。

◎施工管理

1. 本工事の施工管理は、千葉県県土整備部が定める令和7年度版千葉県土木工事施工管理基準及び規格値によるものとする。
2. 工事写真管理は、千葉県土木工事施工管理基準に記載する写真管理基準によるものとする。

◎段階確認

請負者は、下記の工種の施工段階においては、段階確認を受けなければならない。この際、請負者は、工種、細別、確認の予定時期を監督職員に書面により報告しなければならない。

ただし、段階確認の実施時期及び実施箇所は監督職員が定めるものとする。

種 別	細 別	施工段階（確認時期）
舗装工	路盤工・表層工	施工完了時

なお、上記以外でも監督職員が必要と判断したものについては、段階確認を行わなければならない。

◎一般施工

(レディーミクストコンクリート)

1. コンクリートはレディーミクストコンクリートを原則とし、下記の仕様によるものとする。

用 途	粗骨材の 最大寸法	スランプ	呼び強度	セメントの種類
構造物基礎	25(20)mm	8cm	18N/mm ²	高炉（B種）

ただし、高炉セメントによりがたい場合は、監督職員と協議しなければならない。

2. 土木構造物の耐久性を向上させるため、一般の環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下とすること。
3. コンクリートの耐久性向上の対策は「コンクリートの耐久性向上」仕様書（土木編）（平成14年10月一部改正）により行うものとする。

(配合)

一般の環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては、55%以下、無筋コンクリートについては60%以下としなければならない。

水セメント比については、示方配合表により監督職員の確認を得なければならない。

なお、水セメント比を減じることにより施工性が著しく低下する場合は、必要に応じて、高性能減水剤の使用等を検討しなければならない。

◎セメントコンクリート製品

設計図書にあるコンクリート二次製品は、普通エコセメント使用を原則とする。ただし、当分の間、普通ポルトランドセメント等についても同等とし、使用できるものとする。

◎六価クロム溶出試験

~~本工事は、「六価クロム溶出試験」の対象工事であり、下記に示す工種について、六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。~~

~~なお、試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。~~

~~また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。~~

→六価クロム溶出試験対象工種名及び検体数

地盤改良工—路床安定処理工法：配合設計段階 検体

◎建設業退職金共済制度に関する事項

~~建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）の履行確保を図るため、次のとおり工事契約ごとに共済掛金の収納実績の確認等を行うこととする。~~

~~1. 掛金収納の確認方法~~

~~1件500万円以上の建設工事請負契約を締結した場合においては、工事を受注した建設業者（以下「受注業者」という。）から勤労者退職金共済機構・建設業退職金共済事業本部の掛金収納書（発注官公庁等用）を貼付した「建設業紙購入状況報告書」若しくは「共済証紙を購入しない又は購入遅延の理由書」を工事請負契約締結後1か月以内に工事担当課に提出すること。~~

~~2. 下請業者への現物交付等~~

- ~~1) 下請代金に応じた共済証紙の現物交付又は掛金相当額の下請代金への算入を行うこと。~~
- ~~2) 下請業者の建退共への加入促進及び証紙の購入、貼付の履行に努めること。~~

~~3. 証紙の購入額~~

~~共済証紙の購入額は、受注業者が建退共対象労働者数と当該労働者の就労予定数を的確に把握し、それに応じて必要とする枚数相当額とするが、的確な把握が困難な場合には、勤労者退職金共済機構が定めた工事規模及び工種別に必要に応じ購入させるものとする。~~

~~なお、工事の一部を下請業者に施工させる場合には、受注業者と下請業者の証紙購入額を合算するものとする。~~

◎工事实績情報作成・登録

~~請負者は、受注時または変更時において工事請負金額500万円以上の工事について、工事实績情報サービス（C O R I N S）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員に提出し、確認を受けた後、（財）日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。~~

~~なお、登録の申請は次によるものとする。~~

- ~~1) 受注時の提出期限は、契約締結後、土曜日・日曜日・祝日を除き10日以内とする。~~
- ~~2) 完了時の登録期限は、工事完成後、10日以内とする。~~
- ~~3) 施工中に受注時の登録内容に変更があった場合は、変更があった日から土曜日・日曜日・祝日を除き10日以内にするものとする。~~

~~なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。~~

~~なお、訂正があった場合は、適宜登録申請するものとする。~~

施 工 条 件 の 明 示

道路改良工事 市道６１０５号線 匝瑳市吉田地先

明 示 項 目	明 示 事 項
工程関係	・ 特になし。
用地関係	・ 事前に境界を確認し、地権者との連絡調整を行うこと。
公害対策関係	・ 振動・騒音・水質汚濁・地盤沈下・塵埃等による被害の無いよう十分注意すること。 ・ 建設機械は排出ガス対策型を使用するものとする。
安全対策関係	・ 標識類、防護柵等の安全施設類を設置し、また適宜、交通整理員を配置し、工事車両の出入りの安全を図ること。 ・ 工事区間周辺においては住宅地及び通学路となっているため、通学、通勤時間帯の交通確保及び安全対策に十分注意すること。
工事用道路関係	・ 特になし。
仮設備関係	・ 特になし。
建設副産物関係	・ 別添特記仕様書による。
工事支障物件等	・ 既設構造物及び上水道管付近の施工について、損傷を与えぬよう注意すること。
排水工(濁水処理を含む)関係	・ 特になし。
薬液注入関係	・ 特になし。
その他	・ 工事区間付近の住民、地権者等には事前に工事の説明をし、摩擦を引き起こさないよう注意すること。 ・ 変更を要する事項及び設計図書などに記載なき事項等、疑義が生じた場合は別途協議する。